

2018 年 1 月 29 日

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

【独自調査】 スマートフォン・アプリの実利用データを用いた新たな実態調査を実施

～ スマートフォンにインストールしたアプリの 8 割は、日常生活のなかで使われていない ～

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社は、フラール株式会社、立教大学社会学部メディア社会学科・木村忠正研究室とともに「スマートフォンの実利用データに関する調査研究会 (LDASU : Log Data Analysis of Smartphone Use)」を立ち上げ、スマートフォンにインストールされたアプリケーションの実利用データを分析することで、インターネット利用の実態や人々のライフスタイルの把握を試みています。このほど実際の取り組み成果として、独自調査の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

■ 調査結果の概要

本調査の結果として、下記の点が明らかとなりました。

- アプリケーションの所持と利用の関係
 - スマートフォンにインストールしたアプリの 8 割は、日常生活のなかで使われていない。
 - 全体の 1 割超のユーザーが共通して利用するアプリの数は 30 に満たない。広く利用されるアプリの数は限定的。
- アプリケーションの利用実態
 - 1 日のうちで利用率が最も高まるのは、平日・休日ともに 18 時台。
 - 平日と休日ではアプリの利用率が高まる時間帯に差異がみられ、実利用データから利用者の生活行動や生活リズムなどを推察できる。
- 調査手法としての有用性
 - 従前のインターネット利用に関する社会調査結果と本研究会におけるスマートフォンの実利用データの分析結果には「類似点」と「相違点」がみられる。
 - 実利用データを詳細に分析検討するとともに、従前の社会調査の結果との比較検証を進めることで、データ及び方法論の妥当性を高めていくことが重要と考える。

スマートフォンの実利用データに関する調査研究会 (LDASU) については、参考資料をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ】

三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社

政策研究事業本部[東京] 公共経営・地域政策部 副主任研究員 中田 雄介

〒105-8501 東京都港区虎ノ門 5-11-2 オランダヒルズ森タワー

TEL: 03-6733-1022 (部代表)

【報道機関からのお問い合わせ】

コーポレート・コミュニケーション室 杉本 (TEL: 052-307-1106)、村田 (TEL: 03-6733-1005)

E-mail: info@murc.jp

配布先 総務省記者クラブ

参考資料

■「スマートフォンの実利用データに関する調査研究会」(LDASU 研究会)について

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株、フラール株式会社、立教大学社会学部・メディア社会学科・木村忠正研究室の3者が中心となり立ち上げた研究会。従来型の自記式のアンケート方式による社会調査の弱点を補完する新たな方法論として、スマホアプリ分析プラットフォーム App Ape を運営するフラール社が保有するスマートフォン内のアプリケーションの所持や起動(利用)に関するデータなどをもとに、人々の生活行動・生活時間の把握やスマートフォンの利用及びスマートフォンを経由したインターネットの利用実態を可視化することを試みている。

■「スマートフォン内のアプリケーションの利用状況調査」のバックデータ

■【A】インストールされているアプリケーション等のデータ(所持データ)

データ項目: 利用端末のユニーク ID (フラール社が採番したユーザーの管理 ID)

端末内のアプリケーションの固有 ID、名称、カテゴリ名 / 等

抽出基準: フラール社が保有する数万規模のデータから、5,000 名分のデータを抽出

ーAndroid OS のスマートフォンユーザー

ー性別及び 20 代未満/20 代/30 代/40 代/50 代以上の5つの年代区分の計 10 区分を対象に、各区分 500 サンプルずつ層化無作為抽出

ー2017 年 1 月中に、上記ユーザーの利用端末からフラール社に送信されたデータのうち、最新のものを 2017 年 1 月末時点のアプリケーション所持データとして記録

■【B】インストールされているアプリケーション等の起動(利用)に関するデータ

データ項目: アプリケーションの「実利用」に関するデータ

ー利用端末のユニーク ID (フラール社が採番したユーザーの管理 ID)

ー利用端末の Android OS の API バージョン

ー利用端末の開発メーカー/モデル名/言語設定/契約通信キャリア

ー端末利用者の性別/年代

ー端末利用者のアプリケーションの利用ログ / 等

抽出基準: フラール社が保有する数万規模のデータから、5,000 名分のデータを抽出

ーAndroid OS のスマートフォンユーザー

ー性別及び 20 代未満/20 代/30 代/40 代/50 代以上の5つの年代区分の計 10 区分を対象に、各区分 500 サンプルずつ層化無作為抽出

ー2017 年 1 月 25 日(水)0 時 00 分 00 秒から 1 月 31 日(火)23 時 59 分 59 秒までのアプリケーション等の起動データ

分析データセット

- ・5,000 サンプルのうち 15 サンプルは利用端末の言語設定が日本語ではなく(英語/韓国語/その他)、スマートフォンにインストールされたアプリケーションの利用には文化的差異も少なからずあると考えられることから、分析対象から除外した。
- ・上記に加え、対象期間中に Google Play で提供されているアプリケーション(以下、GPA)及びそれ以外のプリインストールのシステム系など(以下、SYS)の起動実績が一度もない 119 サンプルを除く計 4,866 サンプルのデータを用い分析を行った。
- ・なお、スマートフォン内のアプリケーションの利用実態に関する分析では、4,866 サンプルのうち、それ以外のプリインストールのシステム系などの起動実績はあるものの、Google Play で提供されているアプリケーションの実利用実績がない 23 サンプルをさらに除外した 4,843 サンプルを対象に分析を行った。

※上記のデータは、フラール社の自社アプリケーションの利用規約の範囲内で、当該アプリケーションの保有者(規約同意者)から取得したものである。